



学校図書館だより

11月号

令和4年11月
柏市立柏中学校
柏市学校図書館指導員

芸術の秋、スポーツの秋、食欲の秋、そして読書の秋です。冒険小説、恋愛小説、歴史小説、ミステリー小説…。実際に体験することのできない過去や未来、宇宙や異次元に連れて行ってくれたり、経験させてくれるのが『読書』の醍醐味です。図書館でお気に入りの一冊を探して読んでみませんか。

「柏市内中学生 知的書評合戦 ビブリオバトル」



令和4年度 柏市内中学生知的書評合戦ビブリオバトル決勝

10月22日(土)、「柏市内中学生知的書評合戦ビブリオバトル」の決勝が、ラコルタ柏3階オープンスペースで行われ、予選を通過した柏中学校代表の3年生満足峻丞さんも参加しました。聴衆を惹きつける熱いスピーチはとても好評でした。

チャンプ本・特別賞 『匿名』 柿原朋哉 (著) 講談社<913>

ビブリオバトル出場者おすすめ本が、11月15日から27日まで市立図書館本館で展示されます。



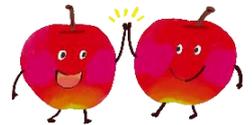
りんご 林檎 リンゴ

これから旬を迎える果物りんご。11月には“りんごの日”があります。

いいリンゴの日 →11/5 青森県が制定

長野県りんごの日→11/22 JA全農長野が制定

青森県と長野県は、りんごの生産量が全国1位、2位の県です。



～今月のおすすめ本～

りんごが出てくる本を読んでみよう!

『レネット 金色の林檎』

名木田恵子 (著) /金の星社 <913>

北海道で暮らす徳光海歌。十二歳の兄が事故で死んでから、海歌の家族はそれぞれの思いを背負い暮らしています。その徳光家はチェルノブイリ原発被災者の少年セリョージャを保養に受け入れ、1ヵ月一緒に暮らします。一家におきる小波。不器用な家族の哀しみは、やがて少しずつ変化していきます。レネットという金色の林檎へ深い祈りが込められています。

『神様のカルテ 3』

夏川草介 (著) /小学館<913>

長野県の病院に勤める医師、栗原一止の物語。シリーズ3作目の本作品では、医局でリンゴをまるかじりする小幡奈美医師が登場します。「秋映」「シナノスイート」など、秋が深まるにつれ旬のリンゴは変わります。リンゴについて何も知らない栗原医師に、小幡医師が語る場面があります。食べてみたくなりますよ。

『もしも地球がひとつのリンゴだったら』

デビッド・J. スミス (文) スティーブ・アダムス (絵)
千葉茂樹 (訳) /小峰書店 <404>

地球の大きさってどれくらい?大きすぎたり、古すぎたりで、よくわからない。でも、そんな「大きな」ものを、目に見えて、手でさわれるものくらべてみたらどうでしょう。太陽系や人類の歴史のように、ほんとうに大きなものを縮めてみると、びっくりするような結果が待っています。

『奇跡のリンゴ』

石川拓治 (著) /幻冬舎<625>

絶対に不可能とも言われた無農薬、無肥料でのリンゴ栽培の実現に向けて苦闘した農家、木村秋則さんの記録。リンゴの木、雑草、昆虫について語る木村さん言葉から、命について、また自然について、知ることのできる本です。

※ライブラリーサーチより一部引用しました